

# 令和7年度 授業改善推進プラン1年（課題分析と授業改善策）

|           | 課題分析                                                                                                  | 授業改善策                                                                                                                         | 2 学期 | 3 学期 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| 国語        | ①自分の考えを3文程度の文で具体的に書く力に課題がある。<br>②拗音、促音、長音や「はをへ」といった助詞の使い方に課題がある。                                      | ①考えを言語化する経験を重ねる学習活動の中に自分の考えを説明したり書かせたりする時間を意図的に設定し、考えを言語化する経験を重ねる。<br>②プリントによる復習や確認テストを繰り返し行い全ての児童の正答率を8割以上にする。               |      |      |
| 算数        | ①問題文から状況を想像することが苦手な児童に対して支援が必要である。<br>②基礎的な加減法の習熟が不十分である児童に対して支援が必要である。                               | ①適宜、場面絵を用意したり、動作化させたりすることで、場面の状況を想像しやすくさせる。また、文章題たくさん触れて、立式に慣れさせる。<br>②プリントによる復習や確認テストを繰り返し行い全ての児童の正答率を8割以上にする。               |      |      |
| 生活        | ①自らの知識と、体験活動経験を結び付け、新たな学びを形成させていく必要がある。<br>②気付きや思いを他者と伝え合ったり、振り返ったりして考えを深めるための支援が必要である。               | ①体験活動（観察、探検など）の設定、資料（学校図書、ICT 端末など）の活用を並行して行い、多様な角度からの学びをすすめる。<br>②活動を振り返る際には、自身の気付きや思いについて問い、ワークシートや発表などを通して確実に表現させる時間を設定する。 |      |      |
| 音楽        | ①姿勢を保持して歌うことが難しい児童への支援が必要である。<br>②音楽を聴き、感じたことを伝える意識を高める必要がある。                                         | ①音楽を楽しみ、歌う姿勢の指導を根気強く行う。<br>②自分の感じたことを言葉や動きで他者に伝える表現の方法を指導する。                                                                  |      |      |
| 図画工作      | ①制作中、失敗を恐れ人に頼ろうとする傾向の児童が少なからずいる。                                                                      | ①失敗は思考や発想のチャンスであることを伝え、幾つかの選択肢を示し、自分の力でなんとかしようとする態度を育てる。また、自力で表現したものは、全て励ましたり価値付けをしたりして、自信につながるよう指導する。                        |      |      |
| 体育        | ①自ら運動遊びの工夫を考え出すことが苦手な児童への支援が必要である。<br>②負けを受け入れられなかったり順番やきまりを守ることが難しかったりする児童への対応が必要である。                | ①遊び方の工夫をしている児童の姿を全体に広げるとともに、友達の真似をしてよいことを伝えていく。<br>②誰でも分かりやすい「はじめのきまり」を設定する。また、事前に負けることもあることを確認し、負けた後の望ましい行動を考えさせる指導を行う。      |      |      |
| 道徳        | ①登場人物の気持ちを考えたり、自分の生活を振り返ったりするなかで、考えたことを表現することが難しい児童への支援が必要である。                                        | ①他の児童の発言を参考にさせたり、選択肢を与えたりし、自分の考えを言語化しやすくなるよう指導する。                                                                             |      |      |
| ICT 端末の活用 | ①ログイン作業を6年生にお願いしており、自分でログインできない児童への支援が必要である。<br>②Google フォームや WEBQU への回答を一人で進める手順を覚えていない児童への支援が必要である。 | ①6年生にパスワードの入力方法を教えてもらいながら、自分でログインする機会を増やしていく。<br>②Google フォームや WEBQU への回答手順をテレビ等で示しながら、ICT 端末の操作方法を覚えらるよう支援する。                |      |      |